

健診を
受けましょう!

〈実施時期〉

● 医療機関での健診について ●

地区	各種健診 (子宮・乳がん検診以外)	子宮がん検診	乳がん検診
福島市内	終了	終了※	7月1日～12月28日
相双方部	7月1日～12月28日	9月1日～12月28日	9月1日～12月28日
伊達方部	8月1日～12月28日	8月1日～12月28日	8月1日～12月28日

※子宮がん検診、乳がん検診は令和5年1月17日に村での集団接種を予定しています。詳細は今後お知らせ版にてお知らせいたします。

■ 受診方法 「総合健康診査のお知らせ」(6月に郵送)の医療機関一覧から希望する医療機関を選び、ご自身で希望の医療機関に電話で予約を取ってください。*健診料金の自己負担はありません。

■ 受診に必要なもの ① 施設検診受診シール(6月に郵送:青色の用紙) ② 保険証
案内をなくされた方、予約の方法が分からない方などお気軽にご相談ください。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637



本田徹先生/医師として国内外の医療現場で活躍。阪神・淡路大震災、東日本大震災の被災地でも最前線で医療に携わりました。現在は飯舘村在住で「いいたてクリニック」の診療(火曜日)と訪問診療を行っています。

本田先生に聴く

うた
こころとからだといのちの詩

いいたてクリニック 本田 徹 先生

第2回 健康診査(健診)のすすめ

戦後日本で始まった住民健診は、長野県の佐久総合病院が、八千穂村と協力して昭和34年(1961年)に始めた、全村民健診活動に起源があります。世界でも先駆的な皆保険制度が同じ年に始まりましたが、現金収入がコメの収穫のときくらいしかなかった農民には、窓口での診察料の一部支払いは大きな負担となり、役場にムシロ旗で抗議に押し掛けるといったことも、信州では起きました。そもそも住民が手遅れになるまで、病気を放置せざるを得なかったため、手遅れになって高額な医療費を支払わされる状況をなんとか改善しなければと、佐久病院の若月俊一院長は深刻に受けとめたのでした。こうして全村民を対象に、年1回個人負担なく始めた健診で、驚くべきことに、潜在疾病や手遅れ病(胃がん

など)の発見が進み、医療費自体が十年のうちに、八千穂村では全国と比べても、長野県内の他の自治体に比べても減っていく、目覚ましい成果を生みます。当時の厚生省がこの結果に注目し、全国の職場や地域での健診の実施を政策化していきました。

みなさんにお願したいのは、年1回の無料の健診を受けること、そして、受けるだけで安心せず、結果に関して知り、個別相談を受けていただくことです。共通の健診項目のほかに、年齢や性別により、がんや肝炎ウイルス感染などに関する健診項目もあります。詳しいことは、村の健康福祉課にお問い合わせください。事後の指導についても、役場の保健師や栄養士が丁寧に説明してくれます。いいたてクリニックでも相談に応じることができま



とっても
お元気!



お祝いに駆け付けた皆さんに、自ら謝辞を述べる今野さん。



ご自宅で行われた賀寿のお祝い。関係者や親族との記念撮影。

今野義實さん
百歳賀寿をお祝いしました

8月25日、今野義實さん(前田・八和木)が百歳の誕生日を迎えられ、村や県、村社会福祉協議会、村老人クラブなどから賀寿の褒状や記念品が贈られました。今野さんは、百歳とは思えぬしっかりとした足取りで式に臨み、自らの足で起立し、褒状や記念品を受け取りました。

大正11年生まれの今野さん。戦争を経験し、困難な状況を乗り越え、「兵隊として鍛えた身体があったからこそ、今もこうして健康でいられる」と話します。

村で百歳を迎えた方は、今野さんで41人目となりました。

敬老祝い品をお贈りしました

9月11日に開催を予定していた令和4年飯舘村敬老会ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大期に発出される「福島県感染拡大警報強化版(BA.5対策強化宣言)」の期間延長に伴い中止となりました。開催の準備を続けていた中、ご参加いただく皆さんの安全を第一に考えた上での決定でした。

ご長寿のお祝いと感謝をお伝えするため、村長からの手紙を添えて、75歳以上の方に、敬老祝い品をお送りしました。今回お会いすることは叶いませんでしたが、来年の敬老会での再会を楽しみに、どうぞお元気でお過ごしください。



対象者名簿を掲載した敬老会の冊子、玉ねぎスープの素、和三盆の干菓子にお手紙を添えて郵送しました。



9月12日にいちばん館にて封入作業。健康福祉課の職員が、お祝いの気持ちと感謝を込めて、丁寧に作業を進めました。